

RUBeC 演習体験記

川上 将 樹

Masaki KAWAKAMI

環境ソリューション工学専攻修士課程 1年

1. はじめに

RUBeC とは、「Ryukoku University Berkeley Center」の略であり、アメリカ合衆国西海岸のカリフォルニア州バークレー市に拠点を置く、龍谷大学の教育・研究施設です。私は今年の夏休み2週間（8月中旬～）を利用して、RUBeC で行われる演習に参加させていただきました。この演習は、今年で9周年であり、環境ソリューション工学専攻からの参加者は初めてということでした。

この演習の主な目的は、英語での論文作成・学会発表を想定した、ライティング・プレゼンテーションスキルの向上、つまり大学院に進んでから必要になるスキルを磨きます。論文は英語で書かれていることがほとんどであり、国際学会に出ることも珍しくありません。さらに、私は海外で研究をさせていただいていることもあり、この演習はとても魅力的でした。本稿では、私が体験した演習の内容やアメリカでの生活について解説します。興味を持っていただければ幸いです。

2. 授業の様子

今年の演習参加者は、26名と例年に比べ多かったため、授業は2つのクラスに分かれて行われました。授業は平日の朝9時から昼過ぎの3時まで行われ、その後2時間は自習時間でした。自習時間の課題が多いこともあり、基本的に全員が最後まで残っていたので、実質夕方まで勉強していました。午前ライティングの授業、午後スピーキングの授業でした（写真1）。お昼休みは1時間半あり、近くファーストフード店やレストランで食事をとるといった流れでした。授業中は英語の使用のみ、緊急時や研究の専門的な部分は、同行した教員に日本語を



写真1 授業の様子

授業中は、自主的に発言することを特に求められました。

話して助けてもらうという形でした。

学生は演習参加前に、卒業論文の要旨と、プレゼンを英語で作成しなければなりません。午前の授業では、英語要旨の間違いを先生に指摘され、それを自分なりに修正することを主に取り組んでいました。特に、前置詞や冠詞、接続詞などの使い分けは、日本人があまり感覚的にはわからない部分なので、すごく勉強になりました。午後のスピーキングの授業は、単語のアクセントをどこに置くか、またネイティブに理解してもらうための英文の読み方を、プレゼンを通して学びました。後者の読み方については、抑揚を付けて話す、つまり文章の中で自分が伝えたい部分を強調するように言葉を発するという点について学びました。アメリカ人はこの部分をとても重要と考えており、日本人だと大袈裟にするぐらいがちょうどということでした。他にも、アイコンタクトやボディランゲージなどのプレゼンをより効果的に見せるスキルも教えていただきました。このスキルは、意外と教えてもらう機会がなく、この演習を通してこれから特に意識しようと思った部分です。

3. 企業・協定校訪問

授業以外では、平日2日間を利用して Thermal Technology L L C 社（LLC）と、本学と協定校を結

んでいるカリフォルニア大学デービス校（UCD）を訪問しました。

LLC は、カリフォルニア州サンタローザ市に本社を置く企業であり、主に高温炉やホットプレス機を製造・販売している企業です。ホットプレス機と放電プラズマ焼結機の2つを扱っている企業はアメリカで LLC だけであり、専門性に高い分野に特化していることが伺えました。今回、専攻している分野とは違う仕事現場を見学させていただく形となりましたが、海外で働いている人達の姿や現場を肌で感じたことは、とても良い刺激になりました。

UCD は、カリフォルニア州デービス市に本部を置く州立大学であり、UC システムに属する 10 校のうちの 1 つです。キャンパスの大きさは UC システムの中でも 22 km² と最大で、キャンパス内の移動は自転車やバスなどが用いられ、飛行場や警察署、消防署が備わっているなど、1 つの町にいるかのような錯覚に陥りました（実際にデービス市のほとんどを占めています）。学業も素晴らしく、農学と獣医学に関しては世界屈指のレベルであり、優れた研究施設をたくさん持っています。特に関心を持ったのが、多種多様な専攻分野です。56 もの専攻分野が設けられていることで、生徒は興味のある分野についてより専門的に学ぶことができる環境であると感じました。学生が勉強するには、本当に最高の環境である大学でした。

4. アメリカでの生活

アメリカでの 2 週間は常に刺激的なものでした。街中で踊っている人を見かけることは多々ありましたし、駅前で「携帯を貸してくれないか？」といきなり声をかけられることも何度かありました。赤信号で右折した車を初めて見たときは、とても驚いたのを覚えています（アメリカでは違反ではない）。



写真 2 ヨセミテ公園内「トンネルビュー」と呼ばれる絶景スポット

書きたいことは山積みなのですが、今回は特にオススメしたい観光スポットについて書かせていただきます。

私は、渡米前から行きたい場所がありました。それは「ヨセミテ国立公園」です。世界遺産にも登録されており、グランドキャニオンと並んで人気が高い国立公園です。自然が大好きである私にとって、カリフォルニアに来たからには、観光せずにはいられない場所でした。そして、実際に見た光景は期待を裏切りませんでした（写真 2）。迫力のある景色は、ずっと見ていたいとさえ感じました。

5. RUBeC 演習を終えて

RUBeC 演習を通して英語能力が上がったかと聞かれると、短い期間であったため正直あまり実感は湧いておりません。しかし、英語を話す度胸は確実に見につきました。そして、これからはより具体的に英語を使う場面をイメージしながら勉強しようと思えることができました。勉強以外にも、様々なことを学ぶことができたと考えております。RUBeC 演習に携わった関係者各位には、このような貴重な経験をさせていただいたこと、この場をお借りして心からお礼申し上げます。